

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	・情報インフラの整備は、個人の責任ではなく行政がしっかりと整備しなければどうにもならない。 ・無線 LAN での BB を実施すべきである。 ・早期に 100%を実現してほしい。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	・IT リテラシーを向上させることが情報格差をなくす重要な手だてである。料金を低くすることも重要だが、ネットの恩恵を全国民が受けるようにするには、まずは教育である。小学校、中学校での情報教育の専門教科の設置、そして主婦、老人向けの無料 IT 講習会、テレビやインターネットでの IT 講座番組の充実、情報系検定試験を取得することによる就職のメリットなど、国が率先して進めるべきである。